

## 福山六次産業研究会 28.2.8

平成27年度福山商工会議所主催の小部会で「福山六次産業研究会」と称して、地域活性化を産学全官民で研究しているそうです。

その中で広島県下が生産量一位のぶどうに目をつけ始まったのが、福山ワインプロジェクトだそうです。

福山市においては、27年3月「ふくやまワイン特区」の申請認可を受けスタートしました。何故、ワインなのか？もう一つの理由は耕作放棄地対策だそうです。

このプロジェクトを備後圏域に拡げるべく広域連携として、三原市、尾道市、府中市、笠岡市、井原市、神石高原町、そして福山市において備後圏域ワインプロジェクトを立ち上げて、特区申請し、3月末認可予定だそうです。

今回参加して感じたことは、産学全官民の連携の必要性であります。説得力を増し、担保となっているため、金融機関も動きやすかったと思います。

また、ワイナリーの本質を他都市で学び、共有することで、一次産業、二次産業、三次産業が興味を持ち、オール福山で盛り上がっている様に感じました。

呉市においても、特に合併町の疲弊が進み、人口減・高齢化、農業の衰退が問題となり、空き家そして耕作放棄地の増大へとつながっています。

オール呉市で何に取り組むのか、また、中核市としてどう周りの市町と連携するのか、早急に考えなければならぬと思った研修でした。